

令和2年度事業報告

I 観光振興【697,403千円】

1 新型コロナウイルス関連事業 (601,682千円)

《重点事項》

新型コロナウイルス感染症の影響により観光関連産業が深刻な打撃を受ける中、本県観光業の中核的な役割を担う宿泊施設や主要観光施設に対し、安心安全な受入体制の整備等への支援を行うとともに、宿泊割引きやプロモーションを行い、県内外からの誘客促進等による本県観光の回復・振興を図った。

(1) 宿泊事業者誘客準備支援事業 (285,782千円)

① 宿泊事業者受入環境整備支援事業

宿泊施設の消毒・清掃など安心安全確保の取組、インターネット予約体制整備、Wi-Fi環境整備など事業回復を見据えた取組に対する支援

○ 支援実績

- ・ 交付額：78,401,658円
- ・ 交付件数：264施設

※1施設あたり上限30万円(補助率：10/10)

○ 主な取組内容

- ・ 消毒液やマスク等の購入、Wi-Fiや多言語対応タブレット整備

○ 事業期間

- ・ 令和2年5月1日(金)～令和3年1月29日(金)

② 県民向け宿泊プラン造成支援事業

宿泊クーポン(ジモ・ミヤ・ラブ宿泊クーポン)を利用した「県民向け宿泊プラン」を販売する宿泊事業者に対して、宿泊クーポン(5,000円)の半額分(2,500円)を支援

○ 支援実績

- ・ 交付額：193,931,650円
- ・ 交付件数：261宿泊施設
- ・ 販売枚数：77,517枚

○ 宿泊実績

- ・ 約44,000人泊

○ 販売期間

令和2年6月19日(金)～10月18日(日)

(令和2年7月29日～令和2年8月31日の間はコロナの影響により事業一時中断)



(2) 旅して応援！旅行商品造成等支援事業

(25,194千円)

① 宮崎県民向け県内日帰りバスツアー造成支援

県内貸切バス等を活用した県民向けの県内グループ旅行・日帰り旅行商品の造成・販売に係る経費（5,000円以上の日帰り旅行に対し15%又は2,500円を割引）の支援

- 販売実績
日帰り：1,835名
- 事業期間
令和2年9月11日（金）～12月27日（日）

② 隣県からの観光誘客事業

隣県（大分・鹿児島）と連携した旅行商品の造成・販売に係る経費の支援

ア 宮崎⇄大分おとなり割

10,000円以上の宿泊旅行に対し5,000円、5,000円以上の日帰り旅行に対し2,500円の割引を実施

- 販売実績
 - ・ 日帰り： 911名
 - ・ 宿泊：2,648人泊
- 事業期間
令和2年7月13日（月）～12月28日（月）
(令和2年7月29日～8月31日の間は新型コロナウイルスの影響により事業一時中断)

イ 鹿児島県民限定 みやざき割

宿泊・日帰り旅行に対し最大50%の割引（上限10,000円）

- 販売実績
 - ・ 日帰り： 60名
 - ・ 宿泊： 210人泊
- 事業期間
 - ・ 令和2年11月20日（金）～12月27日（日）

(3) 観光みやざき再生加速化事業

(174,522千円)

① レベルの高い安心・安全な受入環境整備支援事業

宿泊施設又は観光施設等において、よりレベルの高い感染防止に資する備品の購入や施設改修等に係る経費の一部を支援

- 支援実績
 - ・ 交付額：33,528,970円
 - ・ 交付件数：72施設
※1施設あたり上限60万円（補助率：3/4）
- 主な取組内容
空気清浄機、パーティションの購入、自動ドアや非接触式蛇口等への改修
- 事業期間
令和2年9月1日（火）～令和3年2月28日（日）

- ② インターネット系旅行会社（OTA）との連携事業
 県民の県内周遊及び県外からの誘客を促進することを目的に、OTAによる宿泊割引クーポン（最大15%、上限6,000円）の配信とプロモーションを実施
 なお、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、県外からの誘客については、感染流行地域を除外した上で実施

- 集客目標： 80,000人泊
 - 集客実績： 38,631人泊
 - クーポン配信期間
 令和2年10月19日（月）～令和2年12月24日（木）
- ※ 当初は令和3年3月下旬までの実施予定であったが、全国的な拡大により令和2年12月下旬でクーポン配信を終了



じゃらん



楽天

- ③ 国内交通機関（航空各社・フェリー会社）との連携事業
 ANA、JAL、ソラシドエア、ピーチ、宮崎カーフェリーと連携し、本県の魅力を効果的かつ強力に県外に発信

- ANAとの連携事業
 - ・ ANA商品パンフレット「ANA NOW」や自社HPにおける宮崎県観光情報ページの掲載
 - ・ ディスプレイ広告やサーチターゲティング、リスティング広告等による情報の展開やメルマガの配信
 - ・ 県内酒蔵オンラインツアーの企画実施



ANA NOW 掲載紙面

- JALとの連携事業
 - ・ 著名人（人気女性アーティスト）起用による「デトックス・トリップ宮崎」をテーマにした動画の制作及びSNS広告配信
 - ・ 著名人（人気女性アーティスト）の公式YouTubeを活用した情報発信
 - ・ 機内誌や自社HPにおける宮崎観光情報ページの掲載



JAL「浪漫旅行」新しい自分に編

- ソラシドエアとの連携事業
 - ・ 「サーフィン・観光」をテーマにした家族旅行動画の制作、配信
 - ・ デジタル広告（YouTube、Google）、SNS広告（Instagram、Facebook）、メディア媒体（LINE、サーフィン専門誌等）を活用した情報発信
 - ・ 自社HP内に「サーフィン・観光」をメインとしたランディングページを制作・公開



ソラシドエア「宮崎 TRIP」

- ピーチとの連携事業
 - ・ 女性の九州旅行をテーマにしたWEBマーケティング
 - ・ 東京メトロタイアップによる首都圏PR
 - ・ インフルエンサーを活用した動画配信
- 宮崎カーフェリーとの連携事業
 - ・ 宮崎県長距離フェリー航路開設50周年に係る各種プロモーションの実施（WEB広告や新聞、雑誌、メルマガ等）
 - ・ サイクリングプランやドライブプランの造成
 - ・ 動画広告や専用HPの制作・公開

④ 新聞やデジタルサイネージを活用した観光プロモーション
 ア 西日本新聞、日本経済新聞、ファンファン福岡へのプロモーション
 広告掲載

- 掲載日
令和2年10月15日（木）
- 掲載内容
デトックス・トリップ宮崎
都城市のミートツーリズムなど



イ 宮崎駅EKI-VISIONでの観光情報放映

○ 放映日

- ・ 令和2年11月22日(日)～12月31日(木)
- ・ 令和3年 2月 1日(月)～ 3月31日(水)



放映動画

(4) 「みやざき学び旅」促進事業

(74,544千円)

宮崎県内での宿泊を伴う教育旅行(修学旅行及び宿泊学習等)を取り扱う旅行会社に対して、その経費の一部を支援

○ 支援内容

- ・ 貸切バス1台につき1日上限5万円を助成
- ・ 旅行会社が本県での教育旅行を企画開発し受注・催行する際、1人泊あたり2,000円を助成

○ 支援実績

- ・ 交付額：69,339,840円
- ・ 交付件数：213件(243校、13,470人泊)

○ 教育旅行受入実績推移

	小学校		中学校		高等学校		支援学校		海外		合計	
	校数	人泊数	校数	人泊数	校数	人泊数	校数	人泊数	校数	人泊数	校数	人泊数
平成28年度	55	2,311	6	1,364	9	1,742			13	1,415	83	6,832
平成29年度	11	519	16	2,778	12	1,433			19	1,152	58	5,882
平成30年度	6	195	21	2,806	7	1,156			14	1,121	48	5,278
令和元年度	6	167	14	1,120	11	635			26	1,294	57	3,216
令和2年度	200	10,923	34	2,068	12	1,437	16	446			262	14,874

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大による、県内学校の県内修学旅行への振替及び県外学校による修学旅行先の振替(関西、関東方面から本県を含む南九州方面への振替)により校数、人泊数共に大幅に増加

(5) 青島YELL開催

(41,640千円)

宮崎の代表的観光地である青島「こどものくに」において、国（観光庁）及び県の支援を受けて、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した花火と音楽ライブのイベントを開催し、アミュプラザ宮崎会場への生中継、全国への有料生配信を実施

日時	令和2年12月25日（金）午後6時30分～午後8時
場所	こどものくに（宮崎市青島）
入場チケット販売枚数	990枚
生配信視聴チケット販売枚数	51枚



青島YELLの様様

2 国内誘致事業

(66,364千円)

(1) 魅力ある観光地域「みやざき」づくりの推進 (16,277千円)

- ① 県北エリア「ひむか共和国クーポン」の流通拡大に向けた取組支援
ひむか共和国クーポン予約サイトの管理運営による体験・交流型観光素材の販売促進を実施

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、当初予定していた、県央、県西、県南エリアでの体験・交流型観光素材を組み込んだ旅行商品の造成は未実施

- ② みやざき集中プロモーション事業

県民の県内周遊及び県外からの誘客を促進することを目的に、OTAによる宿泊割引クーポン（最大15%、上限4,500円）の配信とプロモーションを実施

- 集客目標： 1,000人泊
- 集客実績： 1,526人泊
- クーポン配信期間
令和2年7月15日（水）～10月22日（木）

(2) 「日本のひなた宮崎県」国内誘客促進事業 (13,461千円)

旅行エージェントやキャリアに対して、あらゆる機会を活用して「新しい宮崎旅行」につながる情報の発信・観光素材を提案し、旅行商品造成の支援を行い、本県誘客を図った。

① 情報発信・知名度向上対策

ア 宮崎観光情報サイト「旬ナビ」等を活用した情報発信

観光情報を含め、様々な情報はスマートフォン等の携帯端末で取得する人が多いことを意識し、SNS（特にInstagram）を活用した情報発信も積極的に行った結果、Instagramのフォロワー数が約4倍となるなど、ホームページやフェイスブックのアクセス等も前年度を上回った。

- 「旬ナビ」ホームページの状況
令和2年度のアクセス件数 2,308,558件
(対前年比：125%)
- 「旬ナビ」SNSの運用開始
フェイスブック及びInstagramによる情報発信
 - ・フェイスブック（H30.4.20開設）
フォロワー 956名（対前年比：144%）
 - ・Instagram（R元.7.17開設）
フォロワー 14,353名（対前年比：404%）

イ ツーリズムEXPOジャパン旅の祭典in沖縄への参加

開催日	令和2年10月29日（木）～11月1日（日） ※29・30日は業界向け、31日・1日は一般向け
会場	沖縄コンベンションセンター展示棟
来場者数	24,080人 (業界日 4,620人 一般日 19,460人)
商談内容	<ul style="list-style-type: none"> ・九州観光推進機構が出展したスペースの一部で商談会等を実施 ・来期の観光素材、宮崎県としてのコロナ禍での対応や、スポーツキャンプ、教育旅行等に関する問い合わせなど、28件の商談を実施

「ツーリズムEXPOジャパン旅の祭典 in 沖縄」の様様



※ 上記のほか、ツーリズムEXPOジャパン特別企画の「TEJ東京商談会／トラベルフェスタ(令和3年1月7日～1月9日)」に出展予定であったが、緊急事態宣言の発令等により中止

② 旅行会社等タイアップ事業

ア 旅行商品造成支援

宮崎の体験・交流型観光素材等を取り込んだ旅行会社等が企画する旅行商品造成支援

○ 阪急交通社と連携した商品企画造成

同社が企画する「長期滞在」をテーマにした本県観光ツアー商品について、県内周遊や着地型メニューとの連携企画を実施することで、本県観光の新たな魅力付けを図ることを目的に支援

事業時期	令和2年10月～令和3年1月
集客目標	1,800人泊
集客実績	894人泊 ※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から9本中4本を催行中止

○ 宮交ホールディングスと連携した商品企画造成

同社が企画する、首都圏在住者をターゲットとした「みやざき旅して応援！キャンペーン」旅行商品造成について、県内2次交通等との連携企画を実施することで、新型コロナウイルス感染症により疲弊した県内観光業を支援

事業時期	令和2年9月～令和3年1月
集客目標	500人泊
集客実績	383人泊 ※ 新型コロナウイルス感染症感染拡大の観点から1月以降の催行中止

イ 九州7県合同観光素材等説明会への参加

例年、首都圏等で説明会、商談会を実施していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。代替として、WEBサイトにおける観光素材動画配信、素材集の掲載、オンライン相談会を実施

○ 実績

5月～(令和2年度下期版)	「九州旅ネット」内における素材説明動画配信、素材集の掲載
9月～(令和3年度上期版)	素材情報発信WEBサイト(九観推制作)への素材集掲載
3月3日(水)～5日(金) (令和3年度下期分)	オンライン相談会(福岡、東京、大阪地区エージェント:19社)

(3) 「スポーツランドみやざき」を生かしたまちづくり推進事業

(11,036千円)

「スポーツランドみやざき」を生かした誘客プロモーションや旅行商品造成支援

- ① JALと連携したスポーツをテーマにした観光誘客促進事業(事業期間:令和2年10月～令和3年2月)
 - ・ 本県が推進しているサイクルツーリズムをテーマにサイクルコースや周辺の観光情報を組み合わせた動画の制作
 - ・ 「宮崎タイムズ」(パンフレット&Webページ)による情報発信を行い、認知度向上や誘客を促進
- ② JetStarと連携したマリンアクティビティプロモーション事業(事業期間:令和2年12月～令和3年3月)
 - ・ 本県で体験できるマリンアクティビティをテーマにしたJetStarのHPの特設ページを改修、新しい情報を追加
 - ・ マリンアクティビティを軸に、密を避けた宮崎の楽しみ方の動画を制作
 - ・ Webメディアでの取材記事掲載やSNS等での情報発信による誘客促進



宮崎タイムズ



JetStarのホームページより

(4) 交通機関と連携した国内誘客対策事業

(9,858千円)

① 交通機関等と連携したプロモーション

ANAやJR九州と連携したプロモーション及び旅行商品造成を支援

○ ANAとの連携事業

ANAの旅行商品「旅ドキ」を活用して、本県への誘客及び広域周遊促進を図ることを目的に支援

事業時期	通年
集客目標	30,066人泊
集客実績	19,853人泊 (達成率 66.0%)



ANA「旅ドキ」チラシ

○ JR九州との連携事業

JR九州が発行している宮崎「駅発」まちあるきガイドブックを活用して、本県観光の情報発信を図ることを目的に支援



まちあるきガイドブック

② 民間企業と連携したキャンペーン

○ 旬ナビInstagramを活用したハッシュタグキャンペーン等
ハッシュタグキャンペーン参加者：2,600人

○ 旅の本「リーク」への
広告掲載（令和2年11・
12月号）

- 発行日：
令和2年10月20日
- 発行部数：
38,000部



○ その他既存のイベントや関連サイトを活用した情報発信の充実

(5) 九州圏域観光誘客促進

(3,506千円)

大分県と連携し相互誘客を図ると共に、高速道路を活用した西日本周遊
キャンペーンを実施

① 相互誘客促進

「宮崎⇄大分おとなり割」の利用促進を図るための新聞広告・情報誌への広告掲載

○ 掲載誌等

宮崎日日新聞（令和2年7月16日）

旅の情報誌「みちくさ」（令和2年8月号）



宮崎日日新聞 掲載広告



「みちくさ」掲載広告

② 周遊促進

NEXCO西日本が実施する「お国じまんカードラリー2020」への参画、「九州絶景ドライブ」への記事掲載等

○ お国じまんカードラリー2020実績

実施期間 令和2年8月1日(土)～令和3年2月28日(日)

参加スポット数 151箇所(内宮崎県5箇所)

参加者数 12,773名

○ 九州絶景ドライブ

発刊日 関西 令和3年3月4日、九州 令和3年3月6日

発刊数 25,000部

(6) 教育旅行の推進

(3,672千円)

新型コロナウイルス感染症による、海外・県外への誘致活動が困難な中、「みやざき学び旅」促進事業を活用し、主に県内学校の県内修学旅行への取組を教育委員会を含めた行政機関・団体、民間事業者と連携して推進

(7) ユニバーサルツーリズムの推進

(4,798千円)

高齢者や障がいのある方々の今後の旅行需要の高まりを見据え、「宮崎ユニバーサルツーリズムセンター」を開設し、ユニバーサルツーリズムに関する観光客への情報提供や相談対応、宿泊施設や観光地におけるバリアフリー等状況調査を実施



(8) みやざき観光カレンダー2021の作成・販売 (3,756千円)

県内各地の景勝地を四季折々に紹介する「みやざき観光カレンダー」を作成し、宮崎空港や宮交ショッピングアンドレストラン、市町村観光協会等、県内各所で販売

特に今回の観光カレンダーで使用した写真は、一般公募を行ない、これまでとは違う視点やスポットで観光地を紹介をすることができたこともあり、人気が高く早期に完売

また、これまでの壁掛け式カレンダーに加え、宮崎の景観を今と昔で対比できる卓上式カレンダーも新たに作成し販売

発行部数：壁掛け式(2,600)、卓上式(1,400)



公益財団法人 宮崎県観光協会
TEL 0985 26 8100 FAX 0985-20-6123 <http://www.kankou-miyazaki.jp/>

3 海外誘致事業（29,357千円）

新型コロナウイルスの世界的感染拡大で訪日旅行の再開に備え、韓国・台湾・香港を重点的に情報発信と情報収集を行いながら欧米豪（英国・米国・豪州）向けの体験メニューの受入環境整備を行った。

また、安心・安全な宮崎県の観光業界の取組や本県の魅力を紹介する動画等を制作し国内外に情報発信を行った。

(1) 韓国

最重要市場の韓国におけるアジアナ航空の国際定期路線の運航再開や訪日旅行者の受入に備え、情報収集を行うとともに、韓国語ホームページで情報発信

【実績】

- オンライン商談会

期 日	令和3年1月27日(水)
実 績	韓国側22社

- アシアナ航空遊覧飛行でのPR

期 日	令和2年12月12日(土) *12月20日、24日、31日、1月1日(中止) 令和3年 1月31日(日)
内 容	世界最大の旅客機(A380)を使用し仁川発宮崎上空を飛行する遊覧飛行において宮崎県のガイドブックやメッセージカードを参加者に配付して訪日旅行再開後の誘客を図った。



アシアナ航空 A380型機

- 情報収集事業

韓国内のエージェントを通じ、韓国国内の旅行業界等情報についての情報収集

(2) 台湾

国際定期路線を有し、駐在員がいる台湾市場においてチャイナエアラインの運航再開や訪日旅行再開に向けて情報収集とリアルとデジタルによる情報発信

【実績】

- 台北国際旅行博（ITF）出展とオンライン観光説明会

期 間	令和2年10月30日(金)～11月2日(月) オンライン観光説明会 10月29日(木)
形 態	日本ゾーン内に単独ブース(1小間)
参 加	会場来場者数166,731人 オンライン観光説明会 63団体139名

【J1605】宮崎県観光協会



宮崎県観光協会の出展ブース

- 駐在員による情報収集

駐在員によるチャイナエアライン台北支店や主要旅行社へのヒヤリングや月1回の台湾の情勢のレポートによる情報収集を行った。

(3) 香港

韓国に次いで宿泊客数が多い香港市場において宮崎県香港事務所と連携して旅行会社とのネットワーク維持と知名度向上による訪日旅行再開後に備えるための事業の展開

【実績】

- EGL ツアーズへのオンライン表敬訪問

実施日	令和2年8月5日(木)
参加者	EGL 5名 香港事務所 2名 宮崎側 19名



○ EGL ツアーズとの連携事業

期 間	令和2年11月19日(木) ツアー 令和2年11月21日(土) 遊覧飛行
参加者	オンラインツアー 視聴回数1.3万回 遊覧飛行 160名 *各種メディアでの情報発信



○ 香港メディア「Go! Japan」による情報発信（招請事業）

招請期間 発行日	令和3年1月 5日(火)～7日(木) 令和3年2月10日(水)
来県者数	2名(隔離を経て来県)
発行部数	100,000部 (記事16ページ)



(4) 中国

宮崎県経済交流室(上海)との連携による情報収集とJNTO上海事務所や関係団体とのオンラインでの意見交換

(5) 欧米豪

- 航空会社と連携したインバウンド推進事業
訪日旅行再開に備え、首都圏からの国内線を利用した欧米豪からの誘客を図るため、宮崎ならではの自然・文化・食の体験メニューの掘り起こし、磨き上げを行いながらプロモーションに備えた。
連携先 ANA総合研究所、JAL
- 九州インバウンド観光商談会

期 間	令和2年11月4日(水)～6日(金)
主 催	九州観光推進機構
会 場	オンライン
参 加	バイヤー47社 九州のセラー44社

- 「Kyushu Weekender」による情報発信事業

発行日	令和3年3月26日(金)
部 数	40,000部(在日外国人に配付)
内 容	フルカラー見開き2ページ 「サステナブルな宮崎」
オンライン	Webサイト 300,000PV facebook フォ数250,000



(6) クルーズ

世界的なクルーズ船の運航停止のなか、再開に向けたクルーズ業界の動きなど把握し運航再開後の寄港促進のための対策を探った。

- ポストコロナ時代のクルーズ業界調査事業

委託期間	令和2年10月1日(木)～12月28日(月)
調査対象	令和2年2月のダイヤモンドプリンセスでの集団感染から10月のシートレド・クルーズ・バーチャルまで 国内主要な港へのヒヤリングは、11月中
対 策	・外国船受入に関する関係者と住民の合意形成 ・キーパーソンとのオンラインセールスの実施

(7) デジタルを利用した情報発信

- 「TRIP in hinata 新しいおもてなしスタイル」私たちの安心・安全な取り組み

【概要】

観光業界の安心・安全な取り組みを紹介する動画を制作し、多言語化して国内外に発信

令和2年9月1日（火）公開



- The Official Miyazaki Travel Guide（英語版）の運用
- The Official Miyazaki Travel Guide（韓国語版）の運用
- The Official Miyazaki Travel Guide（繁体字版）の開設
- トリップアドバイザーと連携したwithコロナ時代の誘客促進事業

期 間	令和2年6月1日（月）～8月21日（金）
内 容	① トリップアドバイザーコネクト掲載 ② 宮崎県に関する口コミ分析 ③ 特集記事の掲載 ④ コロナ禍におけるトリップアドバイザー活用セミナー
成 果	① リーチ数 336,000ユーザー ② 件数 12,600件（内外国人のものは約2割） ③ 宮崎県1泊2日のドライブ記事を掲載 ④ 参加者24名

- 地元民放テレビ局と連携した魅力発信事業
 - ・ MRT宮崎放送と連携した「感知るみやざき」事業

【概要】

MRT宮崎放送がドローンで撮影した番組「天空のみやざき」を活用して県内18市町村の魅力を「感知るみやざき」の特設サイトで発信

- UMKテレビ宮崎との「TRIP in hinata新しいおもてなしスタイル」に係る共同事業

【概要】

県内観光業界を盛り上げるため、エールみやざき（観光宮崎応援編）テレビCMを制作し放送した。

BSフジの旅番組「わがまま！気まま！旅気分」を制作しBS及び九州ローカル各局で放送

(8) 宮崎県多言語コールセンターの運営

(株)Q T n e t（旧社名（株）キューデンインフォコム）に委託して、訪日外国人旅行者と受入観光施設等との言語サポートを実施

- 対応言語数 19言語

英語、中国語（北京語）、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、タガログ語、マレー語、ポルトガル語、スペイン語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロシア語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語

- 施設登録状況

総計 215施設

【主な内訳】

市町村	6市町
市町村観光協会	16協会
観光施設	20施設
宿泊施設	60施設
病院	73施設
消防署・消防本部	9施設

- 利用実績（令和2年度） 66件



多言語コールセンターのチラシ

Ⅱ スポーツランド推進【59,567千円】

1 スポーツイベント等開催支援事業 (11,331千円)

全国大会など経済効果の高いスポーツイベント等に、開催経費の一部を助成し、新型コロナウイルス感染症対策に係る現場対応などを支援

(1) 第34回青島太平洋マラソン (※中止)

新型コロナの感染拡大に伴い中止となったが、大会準備の広告料支出などの運営経費について負担金の支援

(2) 3大ゴルフトーナメント

「2020 ダンロップフェニックストーナメント」

期 日：令和2年11月19日(木)～11月22日(日)

場 所：フェニックスカントリークラブ

優 勝：金谷 拓実

観客数：無観客での実施

「2020 JLPGAツア-チャレ°カッパリ°カップ」

期 日：令和2年11月26日(木)～11月29日(日)

場 所：宮崎カントリークラブ

優 勝：原 英莉花

観客数：無観客での実施

「アカデイズ」ゴルフ in MIYAZAKI 2021」

期 日：令和3年3月26日(金)～3月28日(日)

場 所：UMKカントリークラブ

優 勝：岡山 絵里

観客数：2,501人

(3) プロ野球ファームゲーム開催支援

「2020年プロ野球ファーム日本選手権」

期 日：令和2年11月7日(土)

場 所：サンマリスタジアム

観客数：4,215人

「第17回みやざきフェニックス・リーグ」

期 日：令和2年11月8日(日)～29日(日)の22日間

場 所：アイビースタジアムほか8球場

※108試合のうち4試合が雨天中止

観客数：無観客での実施

2 スポーツキャンプ・合宿等受入支援・Jリーグキャンプ魅力アップ事業 (14,830千円)

プロスポーツチームや代表チームなどに対して、宮崎牛等の県産品贈呈のほか、市町村が行うキャンプ受入歓迎事業等への支援

また、サッカーJリーグキャンプ等で行われたトレーニングマッチでの審判派遣、移動費の支援

(1) 県産品贈呈

- | | |
|------------------------|-----|
| ○ 贈呈件数：39件 | |
| ○ 贈呈先 | |
| ・ フェンシング日本代表等の国内代表チーム | 9件 |
| ・ 読売巨人軍キャンプ等のプロスポーツチーム | 27件 |
| ・ その他（社会人チーム等） | 3件 |



オリックス・バファローズ春季キャンプ



パナソニックワイルドナイツキャンプ

(2) 受入歓迎

① プロ野球一軍5球団の盛り上げ支援（※広島カープは二軍）

- | | |
|----------------|--|
| ○ 読売巨人軍 | 内容：協力会が実施した、サマリスタジアムでの春季キャンプ
コロナ対策運営費、シャビットバス市内運行支援 |
| ○ 福岡ソフトバンクホークス | 内容：協力会が実施した、生目の杜春季キャンプのコロナ
対策運営費、歓迎装飾の支援 |
| ○ オリックス・バファローズ | 内容：協力会が実施した、SOKKENスタジアム春季キャ
ンプのコロナ対策運営費、歓迎装飾の支援 |
| ○ 広島東洋カープ | 内容：協力会が実施した、天福球場春季キャンプのコロナ
対策運営費、歓迎装飾の支援 |

○ 埼玉西武ライオンズ

内 容：協力会が実施した、南郷スタジアム春季キャンプコロナ対策運営費、歓迎装飾の支援

② エアポートボールパーク2021開催支援（※イベント中止）
空港オアシス広場で宮崎空港ビルが例年実施している春季キャンプ時のプロ野球球団・Jリーグチームのユニホーム、お宝グッズ等の展示イベントは中止となったが、懸垂幕やフラワーアーチなどのお迎え装飾の支援を実施

(3) サッカーJリーグキャンプの支援

トレーニングマッチでの審判派遣支援及び移動経費の補助金を交付

○ 合同会社町子屋（テゲバジャーロ宮崎の運営に関わる会社）に事業委託し、トレーニングマッチ・コーディネート事業を実施
実績：41試合のマッチメイクの調整、審判員派遣等の対応

○ 新規事業として、春季キャンプのトレーニングマッチに係る借上げバス利用等補助を実施
実績：5チーム13件

3 スポーツキャンプ・合宿等誘致促進事業 (1,349千円)

スポーツイベントやキャンプ・合宿の「全県化」、「通年化」、「多様化」に向けて旅行代理店、実業団等を対象に誘致セールスを実施

(1) スポーツ合宿誘致セールス

○ 関西・中部地区

期 日：令和2年7月20日（月）～22日（水）

内 容：・宮崎カーフェリー関西支店と事業打ち合せ
・旅行会社大阪4社、中部2社へのセールス

○ 福岡地区

期 日：令和2年9月24日（木）～25日（金）

内 容：・九州ラグビー協会への補助金利用案内等
・旅行会社8社へのセールス

○ 大分地区

期 日：令和2年9月24日（木）～25日（金）

内 容：・スポーツ協会等関係4団体と情報交換
・旅行会社6社へのセールス

○ 熊本地区（※五ヶ瀬町企画課との合同セールス）

期 日：令和2年10月8日（木）～9日（金）

内 容：・熊本県観光物産課、体育保健課への補助金利用案内
・旅行会社7社へのセールス

○ 関東地区

期 日：令和2年11月16日（月）～17日（火）

内 容：・パナソニックラグビー部への合宿御礼及び
県内パブリックビューイベントの協力依頼
・旅行会社6社へのセールス

(2) スポーツツーリズムの推進

ひなたMIYAZAKI武道ツーリズム推進協議会では、観光庁補助金を活用し、武道を切口とした新たなインバウンド誘客を図るためにさまざまな体験コンテンツを造成し、県内外国人等にモニターツアーを実施し、県観光協会も自治体との調整等の支援を実施

○外国人の剣道体験・出稽古の調整、アクティビティ体験の造成
実績：県内受入の13道場の確保、滝行・真剣斬りなど16.体験コンテンツの造成

○モニターツアーの催行（※新型コロナ拡大で県内在住者のみ対象）
実績：ツアー10回開催 参加者 延べ146人



モニターツアー剣道体験



モニターツアー四半的体験

4 東京オリンピック・パラリンピック等合宿・大会誘致受入推進事業

(2,043千円)

東京オリンピック・パラリンピック大会に繋がる受入準備や本県を舞台に実施されるキャンプ誘致のための支援を行った。

7人制ラグビー日本代表サクラセブンズやラグビートップリーグチーム合宿のトレーニング器具の貸出移送対応や、読売巨人軍キャンプのバッティングゲージ維持管理に係る支援を実施

5 スポーツランドみやざき特別対策事業

(30,013千円)

(1) アマチュアスポーツ団体への合宿経費支援

新型コロナ特別対策事業として、新たに県内団体や小規模団体を対象とするなど幅広く見直しを行い、県内外からのアマチュアスポーツ団体の合宿誘致を図り、本県で合宿する団体に補助金を交付

○ 実績

交 付 額：19,343,000円（前年度：2,856,000円）

交 付 件 数：406件（前年度：37件）

延べ参加人数：23,813人（前年度：4,328人）

(2) スポーツイベント開催支援

新型コロナ特別対策事業として、新たに県内団体や小規模イベントも対象とするなど幅広く制度の見直しを行い、アマチュアスポーツ大会等の本県開催を誘引するために補助金を交付

○ 実績

交 付 額：4,159,630円（前年度：1,748,000円）

交 付 件 数：24件（前年度：14件）

延べ宿泊者数：9,483人（前年度：8,016人）

○ 主な大会

- ・ 第91回都市対抗野球選手権大会九州地区予選大会
延べ参加人数 1,958人
- ・ 令和2年度全九州高等学校バドミントン競技大会 兼
第49回全国高等学校選抜バドミントン競技九州地区予選会
延べ参加人数 1,090人
- ・ 第31回全九州小学生選抜男女ソフトボール大会
延べ参加人数 994人
- ・ シレジア2021世界リレー選手権選考トライアル大会
延べ参加人数 970人

(3) 地域スポーツコミッション活動再開支援事業

スポーツ庁補助金を活用し、新型コロナ感染拡大防止のための空間除菌機など、イベント開催時の貸出用として備品整備を行い、春季プロキャンプの宿泊施設で約40日間活用



(4) スポーツキャンプ誘致活動支援事業

新規事業として、ホテル旅館の県外セールスに係る費用の助成及び県内外に広く人脈を有する有識者に情報の発信、関係団体等の情報収集を依頼する「コーディネーター業務委託事業」を実施

○「スポーツ合宿等セールス旅費支援事業補助金」

実績

交付額：790,000円

交付件数：12件(新型コロナ感染拡大による取り下げ6件)

○「コーディネーター業務委託事業」

実績：2名のコーディネーターに令和2年7月から令和3年3月までの期間で県内外の情報収集等を委託

(5) 合宿誘致セミナー（関西・中部地区）（※中止）

関西・中部地区の大学のサークル系クラブを対象に、本県合宿環境や観光地等を紹介し、誘客に繋げるための商談会を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により直前中止となり、予定参加団体には、宮崎の観光資料と宮崎特産品の詰め合わせセットを送付

【参考】※開催予定内容

予定期日：大阪 令和2年11月30日(月)

名古屋 令和2年12月1日(火)

予定会場：大阪 UMEDA会議室大阪梅田

名古屋 TKPガーデンシティPREMIUM名古屋西口

予定参加団体数：大阪 24団体・48名

名古屋 13団体・26名

予定参加者：都城市、西都市、五ヶ瀬町、日南市観光協会、日南北郷リゾートホテル、青島フィッシャーマンズビーチサイドホテル&スパ、ゲストハウスほけだけ荘、ソラシドエア、宮崎カーフェリー、フェニックス・シーガイア・リゾート大阪営業所

Ⅲ MICE推進【5,802千円】

1 MICE推進体制強化

(1,365千円)

(1) みやざきMICE推進協議会

会長 : 宮崎県知事
構成員 : 県内経済団体、企業等 48組織
令和2年度総会 (7/3(金))

(2) MICE関連会議・研修

JCCB(日本コンgres・コパツショ・ビューロー)総会(オンライン)
令和2年6月15日(月)
九州・沖縄地区コパツショ推進団体連絡会総会(長崎市開催)
令和2年11月19日(木)~20日(金)
九州・沖縄地区コパツショ推進団体連絡会実務担当者会議
(オンライン) 令和3年2月18日(木)
JNTO(日本政府観光局)主催MICEセミナー(中級)受講
(オンライン) 令和3年3月1日(月)~2日(火)

(3) MICE歓迎支援

各種パンフ(観光ガイド、グルメナイトマップ)の提供
歓迎看板の提供
歓迎横断幕(日本語、英語、繁体語、韓国語)、
歓迎バナー(日本語、英語)の貸出
郷土芸能の披露(和太鼓、ひょっこり踊り等)



2 MICE誘致促進強化

(3,071千円)

(1) 個別誘致セールス

- 1) 東京地区 1回 (令和2年11月10日(火)~12日(木))
訪問先: イベントメディア企業、旅行代理店
健康食・化粧品販売メーカー、自動車販売
企画運営会社、広告関連企業
- 2) 関西地区 1回 (令和2年11月16日(月)~17日(火))
訪問先: 京都大学大学院、関西大学大学院
甲南大学、国立研究開発法人医薬研究所
- 3) 福岡地区 3回 (令和2年10月5日(月)~6日(火)、
11月24日(水)、令和3年3月16日(火)~18日(木))
訪問先: 九州大学筑紫キャンパス(研究所)、伊都キャンパス
(学会・協会事務局、研究所)、旅行代理店
会議運営会社(PCO)、県福岡事務所
福岡観光コンベンションビューロー

(2) 国内外MICE・キーパーソンの招請

学会関係者等MICE決定に影響力のあるキーパーソンや、インセンティブ旅行を扱う旅行業者を招請(23名)し、会議施設、アフターMICEの観光地等の視察を実施

- ・住宅設備機器表彰式等 部課長他6名
(令和2年7月3日(金))
- ・住宅設備機器県内観光地・会場視察4名
(令和2年10月15日(木))
- ・自動車製造日本大会事務局5名 (令和2年12月3日(木))
- ・全国学術会議 東京大学助教、甲南大学教授3名
(令和2年12月11日(金))
- ・自動車製造イベント大会事務局他5名
(令和3年3月25日(木))

(3) 認知度・ブランド力向上

・誘致セー以用 コロナ対策携帯型アルコール除菌スプレー
ノベルティグッズ配布



(4) 全国セミナーでの新型コロナ対策支援プログラム紹介

JCCB特別企画セミナー(オンライン)

～Withコロナ時代におけるMICEの促進について～

日時：令和2年12月4日(金)午後3時～午後6時

参加者：80名(全国コンベンションビューロー)

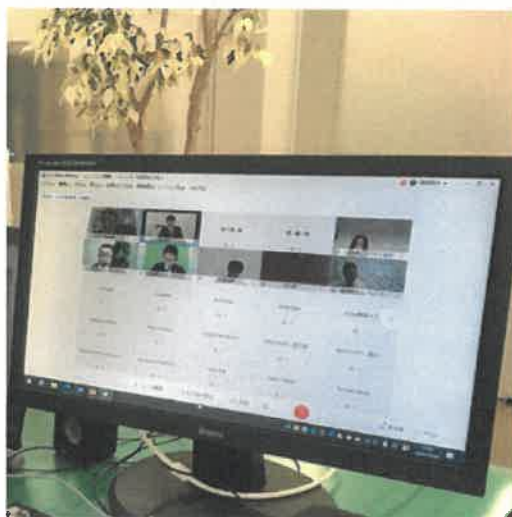
1. 基調講演
2. コロナ禍でのMICE開催の事例紹介
3. 会員より新型コロナ対策支援プログラムの事例紹介

宮崎県・千葉県・福岡市

(紹介内容)・・・①延宿泊者50～99人・泊(小規模会議)

(新)開催支援補助(単年度追加支援)

②(新)コロナ対策経費一部支給



3 MICE開催支援

(1,365千円)

(1) 開催支援補助金

基準を満たす九州規模以上大会へMICE開催支援補助金を交付

補助金額	1,365 (千円)
(宮崎県補助)	910 (千円)
(宮崎市補助)	455 (千円)
令和2年度計画 補助対象件数	3 (件)
(全国大会 3)	



ISMVL2020
(米国電子学会多値論理
シンポジウム)

(ハイブリッド会議)



(2) 令和2年度主なMICE開催実績

開催期日	名 称	延参加者 数(人)	延宿泊者 数(人・泊)
令和2年度	(実 績)		(県外)
11/9(月) ~11(水)	ISMVL2020 ・IEEEコンピュータ学会 多値論理 に関する国際シンポジウム	74	85
12/3(木) ~5(土)	Awards and X'mas Party 2020 ・ネット広告企業による会議	150	144
3/6(土)	第31回日本熱傷学会九州地方会 ・熱傷治療等に関する学術会議	65	53